

鹿県身障

かんぎ 成宜



新年の御挨拶

社会福祉法人

鹿児島県身体障害者福祉協会

会長 藤田 満

新年おめでとうございます。新たな年の初めに当たり、謹んで皆様に御挨拶を申し上げます。

皆様には、かねてから当協会の運営や事業の実施につき深い御理解と御支援を賜っており、心から感謝申し上げます。当協会は、皆様の思いに込められるよう、引き続き障害者の自立と社会参加の推進に努めてまいります。

障害者の地域生活支援体制の充実や多様な就労ニーズへの対応については、国において様々な制度設計が図られてきたところであり、今年10月には就労アセスメントの手法を活用した「就労選択支援」制度がスタート

側からの相手方負担への配慮も、熟度を増しているように見受けられます。

「合理的配慮」は、障害の有無にかかわらず、我々が互いに接する中で当然に提供し合うべきものであり、人として本来備わっている、欠いてはならない資質であると理解します。

県においては、障害者施策に関する基本計画「鹿児島県障害者計画」により「障害者一人ひとりの人格と個性が尊重される社会づくり」を目指すこととされておられ、「地域社会における共生等」と「障害者差別の禁止」が、基本的な方針として掲げられています。

また、障害者への合理的配慮の提供については、昨年の民間事業者への義務化施行を契機として、着実にその理解が深まり、社会全体へ浸透しつつあるように感じられます。日常からの漠とした印象ではありませんが、合理的配慮がごく当然、かつ自然なことからして提供される場面の増加はもとより、提供を受ける

増加はもとより、提供を受ける

発行所

社会福祉法人
鹿児島県
身体障害者福祉協会

鹿児島市小野一丁目1-1
ハートピアかごしま3階
電話099-228-6271

発行人 藤田 満
かんぎ 第165号

皆様にとり、また、障害を有 まれた実り多い年となるよう祈る多くの方々にとり、明るい 念し、新年の御挨拶といたしま 展望の下、この1年が笑顔に包 ず。

第53回九州身体障害者福祉大会
第31回九州ブロック身体障害者相談員研修会

宮崎大会 開催

令和7年1月27日(月)～1月28日(火)第53回九州身体障害者福祉大会及び第31回九州ブロック身体障害者相談員研修会が宮崎県の宮崎市民文化ホールにおいて開催され、九州各県・政令指定都市から約60名、本県からは藤田会長をはじめ13名が参加しました。



（1日目）

第1研究部会では、「合理的配慮の義務化における現状と今後の展望について」のテーマで討議が交わされました。

パネラーは、合理的配慮の考 え方は、物理的バリア（ハード）と心理的バリア（ソフト）の両輪で実践することが大切である。合理的配慮が当たり前になる社会のため、自分たちも歩み寄ろう。当事者が参加し、意見を取りまとめる仕組みを作っていくことが必要。合理的配慮に関する好事例を集めるためアンケートの実施。事例を収集していくことで誰もが暮らしやすい社会に結びついていく。と話されました。助言者からは、障害者自身も合理的配慮について勉強して周知し、積極的に協力を求めていくことが大切との意見が出されました。

第2研究部会では、「障害者相

かんぎの製作費の一部に鹿児島県共同募金会の配分金を充当させていただきます。

「談員活動の活性化について」をテーマに、3名のパネラーから個人情報保護の観点から相談員の連絡先の公開を中止し、協会が窓口となり相談員へと繋いでいる。相談員は障害者でなくてもよいと思う。障害者相談員は同じ立場で当事者に寄り添って情報提供したり、専門の相談機関や支援に繋げたりしていくことが大切である等の発表がありました。

〈2日目〉

福祉大会が開催され、第一部の式典では特別表彰と組織活動功労表彰が行われました。本県からは高城藤雄氏が特別表彰を、田平榮氏が組織活動功労表彰を受賞されました。誠におめでとうございます。

第二部では、「相談支援体制の充実強化と身体障害者相談員について」と題し、厚生労働省社会援護局 相談支援専門官・小川陽氏による講演がありました。

第三部の議事では、大会宣言及び大会決議がそれぞれ満場一致で採択され閉幕しました。

今回は、令和8年1月22日(土)23日に北九州市で開催されます。ご参加よろしく願います。

第23回全国障害者スポーツ大会
「SAGA2024 全障スポ」

本県選手団メダル84個獲得

令和6年10月26日(土)28日、佐賀市のSAGAスタジアムをメイン会場として、第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024全障スポ」が盛大に開催されました。本県は個人競技に66名がエントリーしたほか、九州ブロック予選を制した団体競技3チームが参加しました。

全スポ開催順で、バックスタンド側からメインスタンド方向へ、芝のど真ん中を歩く、従来とは全く違う開会式の入場行進アルコール片手に応援できる夜の競技。選手を支える伴走者やランブオペレーターへのメダル授与など、『する・観る・支える』を体現したシーンが印象的な大会となりました。

個人競技では、本県が遠征する大会としては最多となるメダル81個(金31、銀26、銅24)を獲得。4つの大会新記録を樹立しました。

団体競技の本県チームは、バレーボール(精神)の銀メダルを筆頭に、バレーボール(知的

女子)とサッカーがともに銅メダルと大健闘。全スポ先催県の實力を見せつけました。

第17回九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会

第17回九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会は、10月18日に熊本県民総合運動公園パークドーム熊本で開催されました。

5月に開催された県大会で入賞された3チームが、鹿児島県代表として出場。29チーム中本県は10位に知名町、18位に国分・東郷チームがランクインした。

和やかな雰囲気の下、他県チームとの親睦・交流を図ることができるとの大会、来年度は大分県で開催予定です。



令和6年度 鹿児島県障害者保健福祉大会

11月14日、県民交流センターにおいて、障害者とその家族等374名の参加のもと開催

社会福祉功労者に対する知事表彰及び団体長表彰に続き、薩摩川内市の川路攝子さんによる「子育ては親育ち」のテーマで体験発表がありました。三男の子育てを通して自分を振り返ることや、仲間とのつながりなどを話され、現在の活動についても力強く話されました。

次に、「心の輪を広げる体験作文」で最優秀賞を受賞された作文の発表が行われました。鹿児島市立吉野東小学校4年の石原希理さんは、足に障害のあるお父さんや車いす利用者に対して特別な目で見られがちだが、同じ目線で接することが大切だと発表されました。志學館中等部1年の細山田優花さんは、障害のある友達が悪口にも負けずにリレーを走り切った姿を見て感動し、障害の有無に関係なくお互いを認め合える社会にしたいと発表されました。鹿児島県立薩摩中央高等学校2年の慶田優菜さんは、特別支援学級で過ごした中学時代の親友に対するわだかまりと葛藤を話され、言葉にすることでお互いの本当の気持ちを知り、さらに友情を深め

ることができたことを話され、相手を思いやれる人間になりたいと発表されました。その後、「ブラインドランナーとの競技について」と題し、全国障害者スポーツ大会に伴走やコーラーとして参加した上園真吾氏の講演がありました。視覚障害者の三雲選手も登壇し、実演を交えての講演で、今後もパラスポーツを支えたいと話されました。最後に、大会宣言が満場の拍手で承認され、大会は幕を閉じました。

来年度は、11月6日(木)に開催予定です。

【鹿児島県知事表彰者】

霧島市 新堀 隆志

始良市 竹田 正利

湧水町 湊山 文隆

【鹿児島県身体障害者福祉協会会長表彰者】

・自立更生の部

鹿児島市 上小鶴 孝子

鹿児島市 上蘭 誠

日置市 西村 哲也

・更生援護の部

霧島市 種子田 千博

喜界町 榮 桂子

第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024全障スポ」

鹿児島県選手団競技結果

*大会新記録 **大会記録

Table with columns: 氏名 (Name), 競技 (Sport), 障害区分 (Disability Category), 種目1 (Event 1), 記録 (Record), 順位 (Rank), 種目2 (Event 2), 記録 (Record), 順位 (Rank), 所属 (Affiliation). Rows list various athletes and their performance in events like Javelin, Shot Put, Swimming, and Table Tennis.

獲得メダル数：84個（金メダル31個、銀メダル26個、銅メダル24個） 大会新記録：4

令和6年度 社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会 賛助会員

次の皆様方に、令和6年度の賛助会員として加入いただきました。ここに感謝とお礼の意を込めて、ご芳名をご紹介します。ありがとうございました。

(順不同 敬称略)

令和7年2月1日現在

Table with 2 columns: 団体名 (Organization Name) and 団体名 (Organization Name). Lists various member organizations such as 医療法人静和会, 株式会社フレイスコーポレーション, etc.

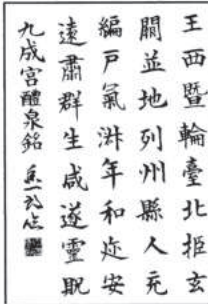
計31法人・団体

第39回 障害者による書道・写真全国コンテスト結果発表

【書道部門・金賞】 中山 香一郎氏

昨秋開催された「第39回 障害者による書道・写真全国コンテスト」で、応募総数1,026点(書道部門828点、写真部門198点)の中、鹿児島から応募された中山香一郎さんが、書道部門で金賞を受賞されました。

作品制作時の状況について、「上下肢の痺れ、疼痛と闘いながら、おそらく今後握力の完全低下で楷書体のようなきっちりした書体は書けないだろうと思いついて楷法の極則であるこの作品を書いてみようと思った」とのことです。誠におめでとうござります。



王西暨 輪臺北拒玄 關並地列州縣入元 編戸氣泝年和近安 遠肅群生咸遂靈取 九成宮醴泉銘 王西暨書

eスポーツ体験会

12月1日、ハートピアかこしまで開催された「あつたか交流フェスタ2024」に併せて、eスポーツ体験会を行いました。

「eスポーツ」とは、コンピュータゲームをスポーツ競技として捉える際の名称です。障害

- 令和7年度行事予定
・県身体障害者グラウンド・ゴルフ大会 (九州大会予選) 5月30日(金) 鹿児島市
・県身体障害者ゲートボール大会 11月予定 鹿児島市
・第19回県障害者スポーツ大会 5月18日(日)、25日(日)
・第18回九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会 秋予定 大分県
・第24回全国障害者スポーツ大会 10月25日(土)〜27日(月) 滋賀県



下中央 國分 隆氏

表彰
令和6年度 厚生労働大臣表彰受賞(更生援護功労者)
日置市身体障害者協議会会長 永年にわたり身体障害者の更生援護に尽力された功績により、栄えある受賞をされました。心よりお祝い申し上げます。心にも、今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。